

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和三年四月度 入賞句一覧 投句数 五百五十一句

特選

大西 誠一 選



境内の牛撫で巡る梅花祭

京都府城陽市 椎原 園美

先ずこの句を読んだ時、ほんとうに作者のおっしやる通りだと感心しました。梅花祭りですから北野天満宮で二月二十五日に菅原道真の忌日に行われます。少し話が変わりますが、一神教のキリスト教、イスラム教では、朝夕礼拝をしたり、断食の月があつたり、豚肉を食べられなかつたり大変です。その点日本神道は水にも石にも神が宿り、制約が少なく大変自由な信仰です。それにより経済の繁栄があると思えます。

三・一一瓦礫ひとつが語りだし

大垣市 田口 貞善

二〇一一年三月一日午後二時四分東北地方太平洋地震が起きました。マグニチュード9.0今でも鮮明に覚えています。あれから丁度十年がたちます。その次の年「震災の土もて作る燕の巣」という句をNHKに出しました。震災の励ましのために。近い将来必ず東海、東南海、南海地震が起きます。願わくば次の2点について準備をすべきと思えます。①想定 of 被害の2倍の対策を打つ②被害に合わなかつた人も三・一一の支援の2倍を考えて置く

仲間作り上手上手や花筏

奈良県奈良市 やまとなでしこ

句作りの手法に擬人化と言うものがありますが、これ程見事なものをはじめてです。中七の「上手上手や」がすばらしいです。生き生きと花筏が流れて行きます。

秀逸

薄氷のやがて消えゆく昼の月

大垣市 立川 昌子

雛納め十二単の袖の染み

不破郡垂井町 小坂 久美子

皺皺の綻ぶ笑顔落の臺

大垣市 吉田 しず子

チューリップかなしい時も赤が好き

不破郡垂井町 中嶋 結映

空の蒼白木蓮のほしいまま

大垣市 高田 雅章

ゆつくりと水車の軋む早春譜

不破郡垂井町 児玉 信子

たんぽぽの絮の冒険子が吹けば

大垣市 小林 研

行き違う人皆やさし花の寺

大垣市 今津 絹代

音もなく街を鎮めて羸りぬ

福井県敦賀市 山田 美千代

随臣にアマビエ加へ雛まつり

大垣市 高津 喜久子

入選

丸めては覗く卒業証書かな

喜寿なれど恋の句あるぞ桜草

のぞき見る窓辺の雛下校の子

金平糖心躍らす春の色

啓蟄や園児の靴の軽やかに

鳥獣戯画なぞる筆ペン春の雨

かざし見る黒点となる揚げ雲雀

想ひ出は妣の一言山椒の芽

誓子忌やだらりの帯の春模様

自販機に群がる子ども春夕焼

待つ桜惜しむさくらや結びの地

夜更けまでつもる話も春炬燵

古民家へ若者夫婦襲る

合格の祝に照れるにきび顔

二つ買ひ考に供へし桜もち

鯛網や渦の鳴門の巨き橋

天を突く辛夷が標父母の墓

手をはらひ初めの一步梅ふふむ

野の風に光に土筆背伸びする

ふらここや抱きて幼の寝息聞く

埼玉県川口市

木下 洋子

東京都世田谷区

関戸 信治

大垣市

川瀬 貞枝

大垣市

大角 信華

本巢市

土川 楽人

大垣市

山田 賀子

大垣市

伊藤 英司

大垣市

中山 あや子

不破郡垂井町

西田 厚堂

京都府京都市

八田 弥須子

大垣市

清水 登美子

揖斐郡大野町

藤田 涼子

千葉県印旛郡

寺嶋 和江

揖斐郡池田町

竹中 登志

大垣市

高木 歌佐

栃木県那須塩原市

垣内 孝雄

神奈川県相模原市

中村 光枝

愛媛県松山市

平野 ヒサエ

滋賀県甲賀市

奥村 紀久代

大垣市

松岡 みつ

選者吟

一匹の奔れば蝌蚪のみな奔る

誠一



一般の部